

## 西・中央アフリカにおける油ヤシ・プランテーション産業拡大に対応するためのコミュニティ能力強化と地域プラットフォームの形成

活動地域  西・中央アフリカ

ひろげる助成

3年目

国際会議

コートジボワール・アビジャン会合 **31人**

セネガル国際会議 **35人**

今年度計画の達成度 **100%**

目標達成度 **100%**



企業から土地を守るセネガルのリーダーたち

### 苦勞した点と工夫した点

#### ■ 苦勞した点

一部の参加者の出身国の情勢が安定していない、あるいはビザの取得が難しいなどの手続き。

#### ■ 工夫した点

特に立場の弱い女性たちは、正式な会合前にインフォーマルな場をもち、先に女性たちだけで話すことにより、会議の内容に影響されず、自由に発言できるように工夫した。

### 課題

西・中央アフリカにおける大規模油ヤシ・プランテーション産業拡大により現地の土地・森林・生物多様性・食料安全保障が脅かされていること。

### 目標

①参加者のコミュニティと土地・森を守る情報と知識の会得、②現地の人々主導の地域プラットフォームの設立、③情報/教育/訓練用教材のコミュニティ内での利用

### 活動内容と成果

アフリカ各地での農村訪問、地域会合や国際会議など、今年度もコミュニティの能力強化と情報共有、交流活動を活発に実施した。会議では特に女性の声が意思決定に反映されるよう配慮がなされ、油ヤシ・プランテーションにおける女性への暴力についても議論がなされた。前年度までに作成した教材をもとにした演劇の上演が計画されるなど、今後の取組みについても活発な提案が出された。メンバーの国内外での活動を通じて西・中央アフリカ地域でのネットワークの形成・強化、各参加者の能力向上などの成果がたらされた。



イタリア企業により収奪後、放置された土地



セネガルでの国際会議

### 全助成期間の活動を振り返って

大規模なモノカルチャー型の油ヤシ・プランテーションの影響を受けた地域の、草の根団体の活発な地域ネットワークを形成できたことは3年間の大きな成果である。GRAINが知る限り、草の根の組織間によるプラットフォームは他に例をみない。地域アライアンスが今後も情報共有、集団行動の開発及びさらなる協力を進めていくものであることは間違いない。本事業の主要目標は達成された。



HP : <https://www.grain.org/>



### 今後の展望

油ヤシの大規模プランテーションの拡大に伴う土地収奪や暴力の問題に立ち向かうため、西・中央アフリカの地域ネットワークとして作られたアライアンスは、地域内の多様な参加者・団体が主導・運営するネットワークとして強化されてきた。この取組みは、同様の問題を抱えるラテンアメリカ地域からも注目されている。今後もアフリカでの活動を継続・拡大していく一方で、他地域にも経験・情報の共有を行っていく。